

San-iku 通信



ご自由にお持ちください。

2015 WINTER

Vol. **08**

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

New!
特集

東京清風園

「インフルエンザ」～予防が大切です～
健康でおいしく ～秋刀魚の柚子胡椒焼き
賛育会ヒストリー ～第二章 第四話

特集

東京清風園

増床移転して3年半。 地域福祉の中核施設となるために

一人一人に寄り添ったケアを目指して

増床移転してから4年目を迎えました。特養ユニットとグループホーム、ケアハウスも含めて入居者数は以前の約4倍、施設の周辺環境も変わりました。今回は、ユニット(10の個室で1ユニットを構成する特養)に絞って報告します。

一般的に特養の暮らしは「施設の日課(時間)」に合わせる傾向があり、「集団行動的で自由がない」という世間の施設イメージに結びついているかもしれません。ユニットでは、入居の際にご自宅での暮らし方(個人の時間)を伺います。ご本人やご家族から起床時間、着替えのタイミングやお化粧の希望等、10数項目あります。暮らす場所が変わっても、その人らしい生活スタイル「こだわり」を継続できるようサポートすることが目的です。

目指すのは家庭と同じ日常の風景です。ご飯と味噌汁はユニット内で作ります。出前や外食もします。何も話さず隣に座っているだけの時間もあります。個室の特性を活かし、可能な限り個人の生活リズムを職員が共有して、言葉では表現しきれない生活の「こだわり」

を探っていきます。

しかし、ケアに対する考え方に高い柔軟性が求められることや時間帯によって配置職員が1名になる制度上の仕組みも加わり、ユニット介護に馴染めない職員がいるのも現実です。緊急時の対応や容易に仲間に相談できる環境作りなど、これまでの経験則だけでは解決できない課題に専門職(介護、看護、給食、リハビリ、相談)が協働で試行錯誤しています。

東京清風園ユニットには、「自宅で暮らすように一人一人にあった生活を、チーム一丸となって目指します」という行動規範があります。チームにはご本人、ご家族、地域の方々も含まれます。私たちは、10年先も誇りをもって地域社会へ貢献していけるよう取り組みます。



屋上庭園にて



東京清風園入口にある、賛育会の由来の一節

あたたかな東京の下町



立花(たちばな)という地名は、吾嬬神社ゆかりの弟橘媛(おとたちばなひめ)に由来しています。幹線道路から一步脇道に入ると民家が密集した細いクネクネとした道が続き、昔ながらの下町の風景がそこにはあります。住民の方も古き良き日本を象徴するような方が多く、人と人との繋がりをとても大事にした街です。



■インフォメーション
特別養護老人ホーム
東京清風園

TEL:03-6861-8771
東京都墨田区立花1-25-12

■Web サイト

<https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/seifu/index.html>

知っ得! ケア

「インフルエンザ」

～予防が大切です～

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症です。通常の風邪に比較して、全身症状が強く出やすいことが特徴です。患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」が主たる感染経路ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

1～3日の潜伏期間の後、38℃以上の発熱、頭痛、咳、咽頭痛、鼻水、筋肉痛、関節痛などを呈します。嘔吐や下痢など消化器症状が見られる場合もあり、子供・高齢者・免疫力が低下している人は、重症化し肺炎や脳炎になることがあります。

インフルエンザ予防には、「かからない」、「うつさない」という気持ちがとても大切です。インフルエンザワクチンは、免疫をつけ死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的としています。外から帰った時等、こまめに手を洗いま

しょう。また、咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて、他の人に直接飛沫がかからないようにしましょう。



秋刀魚の柚子胡椒焼き

味良し、体に良し、栄養豊富で素敵な一品です。

■材料(1人分)

秋刀魚	1尾	A	醤油	小さじ2弱
大根おろし	適量		酒	小さじ1
			みりん	小さじ1
			柚子胡椒	小さじ1/2
			柚子果汁	適量

■作り方

1. Aの調味料を全て混ぜ合わせる。
2. Aを合わせた調味料にした処理をした秋刀魚を30分～1時間漬け込む。
3. 漬け込んだ秋刀魚の余分な水分をふき取り焼く。
4. 焼きあがった秋刀魚に大根おろしを添える。

今が旬の「さんま」には、DHAやEPAといった動脈硬化や高血圧を予防する働きのある不飽和脂肪酸が豊富に含まれています。血液をサラサラにする効果もあるので、全身の血液めぐりが良くなります。さらに、DHAやEPAには紫外線や老化によるドライアイなど目のトラブルを予防する働きも。目のアンチエイジングに最適な食材としても近年注目されています。

(レシピ提供: 東京清風園 管理栄養士 三谷麻衣香)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語

第二章 賛育会を支えた人々



明治19年9月5日生まれ、岡山県出身。

苦学した中学時代岡山教会で受洗。旧制六高を経て、東京帝国大学文学部へ進学。東京帝国大学学生YMCAに入会する。当時のYMCAには片山哲、河田茂、星島二郎らがいた。

大正2年、大学を卒業後、東京帝国大学学生YMCA主事となり、追分会館完成後は専務理事として会館運営にあたった。大正6年、賛育会の前身である東京帝国大学学生YMCA「大学青年会医院」を開設し、その後、河田茂と共に賛育会設立の中心を担う。賛育会設立趣意書は藤田の記したものである。二代目理事長

第四話 賛育会三代目理事長 藤田逸男

「斯る人物を有する賛育会が再建不可能なりとは誰も考えないであろう。物語はこれで終る。明五日は僕の第六十六回の誕生日である」(昭和二十七年九月四日配)

(～藤田逸男著 財団法人賛育会三十年外史「賛育会物語」より～)

の吉野作造が逝去した後を継ぎ、昭和8年から昭和31年に逝去するまで、第三代理事長として23年間、賛育会の運営に当たる。その間、戦時下における運営、東京大空襲で全拠点を焼失した後の解散、長野県への妊産婦乳幼児の疎開、賛育会病院再建と賛育会の復興、静岡県での東海病院設立と激動の時代を切り切り、その苦闘を、財団法人賛育会三十年外史「賛育会物語」として纏めた。

賛育会とは別に、日本で最初の生活協同組合「家庭購買組合」を創設し専務理事として運営にあたる。戦時の物資統制と東京大空襲で組合すべてを失うも、戦後、民間から要求した法律案第一号である「消費生活協同組合法」の制定に尽力した。これは、現在、およそ1000組存在する各生協の根拠法令である。



介護予防・日常生活支援 総合事業(総合事業)を ご存知ですか？

総合事業をご存知ですか？聞きなれない名前、初めて耳にされる方も多いと思います。

総合事業とは何でしょうか？私たちの住む日本は、かつてないスピードで少子高齢化が進んでいます。団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者が増加していく事が予測されます。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう地域全体で高齢者を支えるとともに、高齢者の皆さんも自らの持つ能力を最大限に生かし、要介護状態となることを予防することが大切です。そのための仕組みとして、介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が創設されました。

総合事業の特徴

- 多様な主体による多様なサービスを展開していきます。
- 社会参加の視点を取り入れた介護予防を促進します。
- 介護予防訪問介護と介護予防通所介護が総合事業に移行します。
- サービス利用の手続きの一部を簡素化します。

総合事業は、皆さん一人一人の持っている力を十分に発揮し、『街ぐるみの支えあい』の仕組みを充実させることが根本にあります。皆さんもご自身で出来る取り組みを、是非考えてみてください。

クリスマス献金のお願い

賛育会の創立者たちがキリスト教の「隣人愛」に突き動かされ、1918年に創立されて以来、地域の方々が安心してお産と子育てが出来るよう医療に取り組んで97年、高齢者の生活を支える福祉に取り組んで約50年が経ちます。近年は、時代のニーズに応え、2015年4月には2つ目の認可保育園「さんいく保育園有明」を東京都江東区に開設し、来年の2月には、東京都町田市に医療・介護連携型サービス付き高齢者向け住宅「清風ヒルズ金井」の開設を進めています。

多様化しさまざまな支えが必要とされる今、賛育会は知恵を出し合い、力を合わせ、働いていきたいと願っています。

ぜひ賛育会の働きのために献金をお寄せください。クリスマスを迎えるこの時、皆さまの上に豊かな恵みがありますように。

■クリスマス献金お振込口座

郵便局口座：00190-7-418054 賛育会後援会
*郵送物に同封のお振込用紙からもご寄付いただけます。

■問い合わせ：賛育会後援会事務局 03-3622-7614

San-iku 通信 Vol.08 2015年 冬号

編集発行人：西原 良信

発行所：社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-8 電話：03-3622-7614

印刷：(有)エースプリント

賛育会ホームページ <https://www.san-ikukai.or.jp/>



東京清風園(東京都墨田区)

さんいくフェスタ(あづまの森の秋祭り)

世代を超えてやさしいまち

～こどもから高齢者まで～



正面玄関の様子



下町の保健室



介護相談



山崎亮先生

あらゆる世代の人たちが、知り合い、つながる。住民がお互いに緩やかに関心を持ち合い、助け合い、協力し合い、住み慣れた地域で暮らし続ける。そんなやさしいまちづくりに賛育会も参画したいと思い10月31日にさんいくフェスタを開催しました。当日は3部構成、地域の皆様の作品展示に始まり、踊りや音楽の発表、下町の保健室、模擬店や食品販売があり皆で楽しみ、山崎亮先生による講演会では地域づくりのヒントを学ぶことが出来ました。

Hello! Vol.08

ホスピタル

産科病室・授乳室

賛育会病院

リニューアルしました

当院3階病棟の4床室(307・311・312号室)及び授乳室をリニューアルしました。

リニューアルした4床室は、間仕切り壁で仕切られ、収納棚と小型冷蔵庫が設置されています。部屋は黄色とピンクを基調としたあたたかい雰囲気、ゆっくりと入院生活をすごしていただけるようになっています。

患者の皆さまからは、「個室感がある」、「収納がしっかりできる」、「小さな冷蔵庫や鏡があり、とてもうれしい」などのご意見をいただいています。

また授乳室も明るい雰囲気、ゆったりと授乳していただけるようになっています。

リニューアルに伴い、10月1日以降、307・311・312号室の室料を4,000円(税抜)に変更させていただいておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



■賛育会病院

住所 東京都墨田区太平3-20-2

お問い合わせ ☎03-3622-9191

受付時間 月～金(祝日は除く)9時～16時30分(土曜のみ9時～12時)